

QUOLINE ACID



上質スタイルに導く酸性ストレート

ブリーチやエイジングによる複雑なダメージを持つクセ毛にアプローチするアシッドシリーズ。

ラインアップ一覧 化粧品

	SP オイル	アシッドクリーム		
		pH6	pH5	pH4
イメージ				
容量	100g	1000g		
毛髪軟化成分	ブチロラクトンチオール	チオグリコール酸アンモニウム		
TG換算濃度	33%	1.9%		

※2ndクリームは「クオライン アフタークリーム」を使用します。

- 処方特長
- point 1** バッファー機能を持つアシッドクリーム 3種
クエン酸バッファー※1を高配合し、酸性域で思い通りのアプローチができる。
 - point 2** デザイン提案の幅を広げる毛髪軟化成分の組み合わせ
ブチロラクトンチオール×チオグリコール酸アンモニウムの組み合わせで、しなやかな質感の艶髪を表現。
 - point 3** 上質な艶髪に導くセラムスムーズ処方
毛髪の状態に合わせてセラム成分(補修・保湿成分)を配合。ダメージやエイジングで失われた艶やまとりを与える。



グロスオイル※2
(艶)

SP オイルに配合



ベタイン
(保護)



ケラチン※3
(補修)



セラミド※4
(保湿)



エルカラクトン※5
(保護)

アシッドクリームに配合【セラム成分】

※写真はイメージです。

※1 クエン酸Na (製品のpH調整剤) ※2 炭酸プロピレン、炭酸エチレン、PEG/PPG/ポリブチレングリコール-8/5/3グリセリン
※3 ヒドロキシプロピルトリモニウム加水分解ケラチン(羊毛) ※4 ラウロイルグルタミン酸ジ(フィトステリル/オクチルドデシル) ※5 γ-ドコサラクトン

使用上の注意事項 ※必ずお読みください。

- 顔面や首筋等の皮フについては、直ちに洗い落としてください。
- 根元は1cm程度あけて塗布してください。
- 必ず手袋を着用してご使用ください。
- 加温して使用しないでください。

- 必ず<使い方>に記載している商品と組み合わせて使用してください。
- 本品は使用に際して高度な理美容技術を必要とします。美容室、理容室以外では使用しないでください。
- 必ず使用直前に混合し、当日に使い切ってください。
- 頭髮以外には使用しないでください。
- 本品とパーマ剤を組み合わせるとは混合して使用しないでください。
- 使用後は必ず洗い流してください。

プロセス(ストレート)

毛髪診断・薬剤選定

プレシャンプー

1stクリームを作る

1stクリーム 塗布

自然放置・毛髪チェック

※放置タイム 20~30分

中間水洗

シャンプー

ドライ・アイロン

2ndクリーム 塗布

※クオライン アフタークリームを使用

自然放置:10分

プレーンリンス

アフターケア・仕上げ

薬剤選定表

アシッドクリーム	pH6	pH5	pH4
ダメージレベル	3	3~4	4
毛髪履歴	カラー クールドパーマ	ブリーチハイライト ホット系パーマ	ブリーチ
毛髪明度	14Lv以下	14~15Lv	16~17Lv

アシッドクリームとSP オイルを混ぜる

アシッドクリーム

SP オイル



10 : 1

※使用量目安 ミディアム 100g:10g=110g
※使用直前に混ぜてください

総還元力(TG換算)

組み合わせ比 (アシッドクリーム:SP オイル)	総還元力(TG換算)
6:1	6.3%
10:1	4.7%
20:1	3.4%

※pH6/5/4のTG換算濃度はすべて共通です。

ARIMINO

株式会社アミノ

お客さま窓口 0120-945-334

受付時間/9:00~17:00(祝日、年末年始、夏季休業期間を除く月~金曜日)